

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立玉津中学校

令和 8 年 4 月

大阪市立玉津中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、ここ数年にわたり、落ち着いた環境のもとで、授業や学校行事に取り組むことができおり、年度末の学校評価アンケート（生徒）においても、「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、8割以上の生徒が肯定的に答えている。一方で、不登校生徒の在籍率は、継続して10%前後で推移しており、本校においても喫緊の課題となっている。

学力面については、大阪府中学生チャレンジテストにおける平均正答率が、いずれの学年においても大阪府平均を上回っており、全体としては成果を上げている。一方で、平均正答率の7割以下の生徒が、学年によって差異はあるが一定数在籍しており、学力低位層の学力向上が課題となっている。

本校では、様々な学校行事に取り組む中で、生徒の自己肯定感や道徳心、自主自立の精神の伸長を図っており、新型コロナウイルス感染症の拡大により、一時途絶えていた様々な行事を復活させ、その活性化に取り組んでいる。一方で、それが教職員の負担増にもつながるため、より業務の効率化を図る必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和11年度末の年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を87%以上にする。
- ・令和11年度末の学校評価アンケート（生徒）における「先生は、相談したい事や悩み事にきちんと対応してくれている。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を92%以上にする。
- ・令和11年度の不登校生徒の在籍比率を、令和7年度の在籍比率と比較し、2%以上減少させる。
- ・令和11年度末の年度目標アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。
- ・令和11年度末の学校評価アンケート（生徒）における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- ・令和11年度末の年度目標アンケートにおける「いじめはどんな理由があっても、いけないことだと思う。」に足して、最も肯定的な「思う」に回答する生徒の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和 11 年度の中学生チャレンジテストにおける、国語および数学の平均正答率の対府比を、令和 7 年度より 0.03 ポイント向上させる。
- ・令和 11 年度末の年度目標アンケートにおける「学級で話し合う活動や場面を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- ・令和 11 年度の大阪市英語調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 62%以上にする。
- ・令和 11 年度の中学生チャレンジテストにおける大阪府の平均正答率に対して 7 割以下の正答率の生徒の割合を、いずれの学年も令和 7 年度より 2 ポイント減少させる。
- ・令和 11 年度末の年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きである。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 84%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和 11 年度末の年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- ・時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。
- ・教員の 1 ヶ月あたりの平均時間外勤務 30 時間以下にする。
- ・令和 11 年度末の年度目標アンケートにおける「読書が好きである。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 64%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和 8 年度末の年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85.4%以上にする。
- ・令和 8 年度末の学校評価アンケート（生徒）における「先生は、相談したい事や悩み事にきちんと対応してくれている。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。
- ・令和 8 年度末の年度目標アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85.4%以上にする。
- ・令和 8 年度末の年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・中学生チャレンジテストにおける、国語および数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- ・令和 8 年度末の年度目標アンケートにおける「学級で話し合う活動や場面を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- ・大阪市英語調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 60%以上にする。
- ・令和 8 年度末の年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和 8 年度末の年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する生徒の割合を 60%以上にする。
- ・時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。
- ・令和 8 年度末の年度目標アンケートにおける「読書が好きである。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 55%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立玉津中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 - 令和8年度末の年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85.4%以上にする。 - 令和8年度末の学校評価アンケート（生徒）における「先生は、相談したい事や悩み事にきちんと対応してくれている。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。 - 令和8年度末の年度目標アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85.4%以上にする。 - 令和8年度末の年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 明るく落ち着いた教育環境の中で学習に取り組むことができるよう、いじめや暴力行為等の問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。	
指標 - 学期に1回、学習者用端末を活用したいじめアンケートを実施する。 - 年2回以上、教育相談を実施する。 - 令和8年度末の年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。 - 令和8年度末の学校評価アンケート（生徒）における「先生は、相談したい事や悩み事にきちんと対応してくれている。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 防災・減災教育の充実に向け、区役所等の関係諸機関や地域と連携を図るとともに、自らが主体的に行動する意識の向上を図る。	
指標 - 区役所や消防署、地域防災リーダーとも連携し、3年間を見通した防災訓練を実施する。 - 区役所、地域で実施される実施される災害時避難所運営訓練に生徒会等から参加する。 - 令和8年度末の年度目標アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。	

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

生徒が様々な人権課題への正しい理解と認識を持ち、自他の生命と尊厳を互いに尊重しあう意識の涵養を図る。また、生徒の社会的自立に向け、キャリア教育を進める。

- 指標
- ・各学年で、職業講話等のキャリア教育に取り組む。
 - ・2年生で職場体験学習を実施する。
 - ・外部から講師を招いて、全学年で人権講話を実施する。
 - ・社会福祉協議会に協力をもらい、福祉体験学習を実施する。
 - ・令和8年度末の年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立玉津中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 ・令和8年度末の年度目標アンケートにおける「学級で話し合う活動や場面を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。 ・大阪市英語調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を 60%以上にする。 ・令和8年度末の年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 生徒一人ひとりが学ぶことに興味・関心を持ち、自らの考えや意見を持つなどの「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。また、そのベースとなる基本的な学力の定着を目指し、校長経営戦略支援予算やブロック予算を活用し、生徒の個に応じた支援に取り組む。	
指標 ・ブロック予算の学校ごとの個別の取組支援予算を活用し、学びサポーターの配置を行う。 ・年に2回の校内研究授業習慣を設定（この期間に研究授業の実施が難しい場合には別日に実施）し、授業力の向上に取り組む。 ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 世界的な協働が進む国際社会において、生徒に未来を力強く切り拓いていく力を身につけさせるために、その可能性を広げる力となる英語のコミュニケーションスキルを向上させる。	

指標 ・大阪市英語調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 60%以上にする。 ・大阪府中学生チャレンジテストで、すべての学年で大阪府の平均正答率を上回る。	
取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 生徒が心身ともに健康で活力のある生活を送るために、スポーツへの関心を高め、主体的に運動する意識の向上を図る。また、心身の健康増進のための安定した食生活の推進のために、生徒に食に関する正しい知識と規則正しい食習慣への意識の涵養を図る。	
指標 ・令和 8 年度末の年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82%以上にする。 ・区役所と連携し、食育に関する出前授業を実施する。 ・毎月、食育つうしんを発行し、健康と食に関する意識を向上させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立玉津中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 - 令和8年度末の年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を60%以上にする。 - 時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。 - 令和8年度末の年度目標アンケートにおける「読書が好きである。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を55%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）】 急速に進むデジタル機器の発達に対応した生徒のデジタルリテラシーの向上を図るとともに、学習者用端末等を活用した効果的な学習を推進する。	
指標 - 年に2回の校内研究授業習慣を設定（この期間に研究授業の実施が難しい場合には別日に実施）し、授業力の向上に取り組む中で、学習者用端末の積極的な活用に取り組む。 - 令和8年度末の年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を60%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保としなやかな組織づくり】 校務にかかる各種システムを活用し、業務の効率化を図るとともに、校長経営戦略予算より、教員の負担軽減にかかる予算を確保し、働き方改革を図る。また、学校閉庁日を複数日設定し、年休等の取得しやすい環境を整備する。	
指標 - 長期休業中の学校閉庁日を、夏季には4日以上、冬季には2日以上設定する。 - 時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 学校図書館主任を窓口とし、大阪市教育委員会より配置された学校図書館司書と連携し、学校図書館の開館や館内の環境整備を進める。また、学校元気アップ授業による、学校図書館を活用した学習支援を実施する。	

指標 ・学校元気アップ事業を活用したテスト前の自主学習会を、年5回の定期テスト前すべてで実施する。 ・令和8年度末の年度目標アンケートにおける「読書が好きである。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を55%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	